明治四十五年四月一日納本發行（毎月一回一日發行）
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

明治の女子

第九巻第四號

目次

◎復活の意義（一）……………ゲアンス博士
◎起て邑に行け（五）……………長尾半平
◎「亞孟」の教（一〇）……………川添萬壽得
◎幼兒の宗教心に就て（一五）……………甲賀藤子
◎わが家族の一日（一七）……………佐々榮子
◎耶蘇の説きし救（二一）……………柏井園
◎聖 盃（二五）……………風江
◎會の消息（三〇）……………

△日本基督教女子青年會△△東京基督教女子青年會△プール女學校△小石川傳道女學校△女子英學塾△横濱共立女學校△大阪ウヰルミナ女學校△米子女子青年會

日本基督教女子青年會發行

女子寄宿舍

基督教女子青年會は

牛込區納戸町四十五番地

小石川區水道町二十八番地

の二ヶ所に寄宿舍を設け女學生諸子の爲に及ぶ限りのお世話を致して居ります

右の寄宿舍は門倉ふじ子、大西絹子の兩氏が親しく監督して居ります。東京に家庭又は適當の保護者のない方々なして家庭に於けると同樣に勉强の出來る樣にするのが青年會寄宿舍の希望であります

入舍希望の御方は願書を監督者門倉ふじ子氏或は大西絹子氏に宛てゝお送り下さい。

尙同舍は一時の宿泊も許しますから、講習等の爲に御出京の方々にも宿泊の便宜を計る事が出來ます。

寄宿舍委員長　今西糸子

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢、一部郵税共金五錢とす。

一、日本基督教女子青年會は女子の衞生、社交、智識、靈性上の發達を圖るための團體也。

一、日本基督教女子青年會中央委員左の如し。

委員長　井深花子

副委員長　鶴見嘉子

書記　三谷民子

會計　井上友子

萬國基督教女子青年會同盟委員

萬國學生基督教同盟會委員

同　河井道子

東京在住委員

エ、ピー、ウエスト　津田梅子

平野濱子　宮川すみ子

中島小蓉　鈴木歌子

フイイシヤー　サラ、エリス

二宮良子　小此木まつ子

地方在住委員

大阪　ケー、ツリスツラム　京都　佐伯小糸

京都　デントン　名古屋　ウインウイルソン

廣島　エヌ、ビー、ゲインス　大阪　鈴木幸子

函館　エム、アプラウンロー　大阪　廣岡淺子

京都　松田道子

日本基督教女子青年會幹事　エー、シー、マクドナルド

同副幹事　エム、エル、マンウ

同　ジエイ、アナル、ソトネ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

希望　ウッヅ筆

△第二十四頁說明參照▽

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復活の意義

四月七日は復活祭に相當す、我れ等は復活の意義を知りてその日を意味多く迎へんことを欲す。ケアンス博士が昨夏英國オパデインの夏期修養會に於て講話せられ、その後印刷となりて世に出て、大に世人を益したるものゝ一節を掲げて社説に代ふ。

世界の人類に對し、基督教者の生活に鑑み、或は神其者に關聯して、復活といふ事を考へて見ると、實に深遠な意義の存する事であつて、實に此復活といふ一句の中には、はかり難き喜びと、生命との含まれて居る事を感じます。

現代の理化學界では、先年ラディウムに關する新發見があつて以來、殆と全力を擧げて研究の歩を續けて居られるが、其研究する所は何かといふと、新元素其者に關しての實驗ばかりでは無く、此元素に關聯して宇宙即ち森羅萬象を新たなる見地から試して見やうとして居るのです、其結果、世界の萬物に就て驚く可き新智識を得て、將に物質界に一新紀元を開かむとし、過去の人類社會に於いて、確立せられて居た、原則、理論を少からず危み疑ふ樣になつて來ました。此事實は、確に我々にとつての良い教です、若し、基督が全く罪の穢れを離れたお方であり、尚又、死より蘇つて、天にお昇りなられたといふ事を事實とすると、此事實が、我々の周圍にある此不可解の自然界、人類界に及ぼす影響はどんなものであらうかと考へて見なければなりませぬ。先づ是を過去の社會に就て考へて見ませう。

現に世界の不信者の中には、あまり世の中に悲劇か多い、慘事が多い、我々は非常なる壓迫と虐待とを受けて居ると感ずるが爲に、慈悲恩愛の神の實在を信ずる事がどうしても出來ないのだといふ人があります。今日稍、物事を判斷し、眼を以て社會を見る事の出來る人は、其暗黒の半面を見ない人はありますまい。愛の苦艱、死の悲哀、更に進むでは、思ふに忍びざる靈の廢頽、是等は我々が日々出遇て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居る事であつて、又將來長く續く事に相違ありませぬ。彼の世界の想像的最大智識と目せられて居る大文豪が文藝の力を借りて人生を描くに當り畢世の力を絞つた作物は、決して喜劇ではなくて皆悲劇であつた。「プロミシアス」「エディパス」「ハムレット」或は「ファウスト」の如き皆それです。

世界の大作家エスキラス、ソフォクレス、シエークスピア、又は、ゲーテの書いた人生は皆是れ劇悲です。是は確に注目す可き事實でせう。

更に之を現代に求めると、彼の現代的悲觀哲學が前代の樂觀的哲學を見下し、度外視して居る勢ひといふものは非常なものです。それで今此では、現代的悲觀を眞正面から迎へて論じなければなりませぬ先づ第一に、基督が此所謂下界に於て第三日目に死より蘇つたといふ事は何の意義も無い事として見捨てる事の出來るものでせうか。實に此復活の事實あるか爲に、單に基督御自身ばかりでなく人類全體を照す事の出來る大いなる光明を認められるのではないであらうか。實に是事あるに依て始めて天の光榮を地に齎す事を得るので、此に始めて人類社會の眞の意義を見る事が出來るものと思はれるのです。

今、遙か古代に遡つて、彼復活前迄の、自然界及び人類の歴史を考へて見ると、唯靈と物質との絕間なき爭鬪に過ぎなかつたので、向上せむとする靈の力、是を抑壓する暗き物質の重み、此兩者の間に、永い戰を續けただけの事でした、試みに錚々たる現代の哲學者ベルグソン等のいふ所に依ても、有機體發展の徑路は是を創造的進化に歸して居る、即ち、密める精力の勃發する所、其中間に介在する物を破つて、先づ無意識の有機物、次には意識を存する有機體を形成するのだと言つて居ます。

此の樣にして進化し來つた猿と人間との頭腦の差異はどこに在るかといふと、それは單に其作用の違ひ或は其組織の異ひにあるばかりでなくそれ以上更に根本的な靈の有無に依るのではありますまいか。此生靈の發動せむ爲には、猿の如き組織では不充分であるが爲に、更に、思想と、意志と、進むでは神を求むる切なる靈の機能とを具備する高等な機關を設けたものとしなければなりませぬ。

此れて、人間といふ新種族か出來上りました。靈の第一期の勝利は此樣にして得られましたけれども靈性は倘も進むで絕間なく進步と向上とを社會に求

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めて止まぬのです。
此昔の靈と肉との戰は、形こそ變はれ今も尙、我等の間に繼續して止まぬものです。人生は今も尙抑制と悲哀とに襲はれ、其悲哀の絕頂は死に歸するのです。死は實に人生を支配します。死に赴いて、再び此世に還つた人は未だ嘗つて無い。然し、此死が人生終極の牢獄であらうか、更に、之を破つて光明を認め、更に高い世界に上る道は絕無であらふか。若し此道が有るとすると、今迄の人生の有らゆる慘事あらゆる悲劇は、單に此高きに就くの道であつたに過ぎず、此處に赴くが爲の準備であつて、敵と思つて憎むだ者も、慘いといふて泣いた者も、凡て一つの大いなる愛の手に抱かるゝの方便であつたといふに歸して終ひます。即ち問題は單に、「世の主宰者は愛であるか、否か」といふ事になりませう。

此に人世の一大問題が提出せられましたが、是れは、どうしても、唯一つの方法に依つて定めるより外道がありませむ。その道といふものは、全く罪の穢れを脫して居る人を求めて、其人を透して如何にとも證據たてる外は無いのです。

然し、遂に此世には、其樣な證據を示し得る人が出られました。世界あつて以來の最完全な人と謳はれ、信と愛と希望とに生き玉ふた基督が出られた時に世の有らゆる悲劇はどうなつたか。實に此罪なき人の前には、有らゆる罪惡も、行路難も皆其あとを收めて終つた事は、古來の歷史の證明する所です。基督の赴き玉ふ所、凡ての破壞力は皆其色を失ひ、飢饉も病魔も其威を振ふ事は出來なかつた。然るに遂に危難と橫死とは彼の身邊にも迫つて來て、遂に自ら、十字架上に斃れられたけれども、是とても、止むを得ざるの死では無い、人類の罪を贖ふが爲に進むととなられたる死であるといふ事は聖書の中にも記してあります。唯、其當時には、使徒達にも此死の眞意義は解する事が出來なかつた。天國も、救世主も皆一片の夢であつたと諦らめて終つた其時に、起つた事即ち復活は實に最後の勝利、萬能の死を壓倒した非常な勝利であつたのです。御弟子等の書いたところを繰り返して讀むと實によく此意味が深く強く現はれて居ます。且つ、基督は單に死より復活なされたといふに止らず。更に高く淸く、神に近きものとなつて蘇られたが爲に、此復活に依て更に何者かを加へられたと見る事が出來ます。實に此復活

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の基督を以て、前に述べた靈と肉との爭鬪の最後の決勝點とも名つけられませうか。假りに猿の身體と人體と比べて非常な差異があるとはいふが、今現在の人類と勝利の基督即ち、未來に於ける我々の理想とを比較したならば、其異ひは、實に非常なものでせう。斯くの如く清く高くして蘇り玉ふた、基督に依つて、嘗ての疑問、人生の意義は明にせられ基督あり復活あつたが爲に、其以前の人類自然の歷史の上には一大光明か加はつたのです。此の樣にして復活は眞に神の權威と愛との完全な發表であり、且つ又、人生萬端の苦痛、困難の如きは、唯神が我等を敎導し玉ふ道に過ぎぬと合點の行くまては、新譯書にいふ復活の意義を解したものとは言はれませむ又、此邊の消息が解せられて居なくては、當時の人が如何なる喜びを以て此復活を迎へたか、如何に、地上の天國として又、人生悲哀の終局として是を悅び迎へたかといふ事は同情が出來ませむ。是あるが爲に實に、基督敎の樂天觀といふものも出て來るのです。

此復活は當初の基督敎徒の爲に、二つの大いなる仕事をしたものてす。一には基督の權威を定め、二

には神の愛を承認させました。即ち、死に依つて一度地に落ちた基督の敎を樹立し、イエスが神の子たる事を證據だてたものは復活の力です。更に之を神に見ると、唯に權威ばかりて無く、大いなる愛の力を以て、其子イエスを再び此世に遣はし玉ふたといふので、單に過去現在に其愛の光を認めしめたばかりて無く、知る可らざる未來に至る迄、其愛の力に賴らしめる樣になりました。斯くの如くして復活は神性を實に完全に古代の人に示したもので、まことにそこにはいひ難い靈的の美を認めるのです。基督の其弟子に敎へられた言葉に、神を信ぜよ、さらば山を動かす事も出來ると申された、其言葉を證據だてるが樣に其處に表はれて來たものが復活で、其處にはいひ難い神祕の奧を照らし示す樣な、純潔なる愛と美との一流の光を見る事が出來ます。

是を思ふと彼の上代の民か驚く可き、希望と精力と生氣に溢れて居つたのも道理ある事です。で、我々にしても、我主の復活を眞の意義に解する事が出來る樣になつた曉には、幸であつた古代の人の生活に還り、今日の苦艱を忘れて、明日の幸福に生きる事も出來るてせう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

談叢

起て邑に行け

長尾半平

左の一篇は二月十五日萬國學生祈禱會に就て開催せる女子學院の集會に於て講話せられたるもの

○

昔エルサレムの美しと名づくる門の邊りに於て、ペテロが施しを乞はんとする者に對し「金銀はわれに無し、只我が持てるものを汝に授く」と申されました。あなた方は日曜、その他の集りに於て、牧師教師の口を通じて、奥妙なるキリスト教の教義をお聞きになり、又博士、學者等より深遠なる學問上の智識興味ある經驗のお話をお聞きになつて居らるゝであらう。私は固よりキリスト教の教義を説くに於ては牧師に若かず、學問上のお話をするには博士に及ばざるは申す迄もなきことでありますが、先達而三谷先生からの强ての御依賴がありましたので、只自分の持てる處のものはあなた方に上げる事が出來やうと思ひ、此處に立ちし次第であります、も一つお斷りをして置かなくてはならぬ事は、この集會は女子英學塾、女子學院の御方々の集りださうでありますが、私の家内は此兩方の學校の御厄介になつた緣故がありますので、私の耳には此の兩校の名前が普通の響き以上に、一種の快き親しき感じを與へられまするので、自然他人行儀ならず、此水入らずの御集りの席上において思ふ丈けを無遠慮にお話して見たいと思ひます。その邊はどうぞあしからず御了承を願ひ度いのであります。

○

前内閣の花形役者と云はれ、また私に取りては官歷の關係は別としまして、其薰陶指導を受けた點よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りは、恩師と申すべき後藤男爵と、一日雜話をなしましたる折に、「本鄕の大學の前を通つて、どう行つて、どう曲る云々」と云ふ話をしました。すると男が「大學はどこにある」と尋ねらるゝので、「あなたも隨分ぼんやりの人だ、あの赤門に帝國大學と筆太に書てあるあの大きな看板が目につきませんか」と申すと、「己れはまだそんな看板を見たことがないがして見ると君にはあれが帝國大學と讀めるものと見える。己れは今迄片輪者養成所と讀んで居つた」と云はれたので、始めて戲談であつたことゝ知つた、同時にこは一片の戲談に非ずして、男の帝國大學に對する平生の抱負如何を見るべく、當に一幅の諷刺畫であると心附きし次第であります。又同男が昨年の暮、法科大學の學生及び學士等でやつて居らるゝ「綠會」の席に招かれ、一席の講話を乞はれた時の男の演說は何しろ一時間にも亘つたといふのであるから、此處にそれを詳叙する事は出來ないが、その要領を申して見ると、「諸君は恰も溫室の中に咲ける立派な花のやうなものだ、この大學といふ屋根の下に高等の敎育を受け學理の蘊奧を究めて居らるゝ間は花も香も如何にも美事にして立派な生活をして居らるゝ樣だが諸君が一旦世の中に出て、烈しい風、冷たい雨に曝されたらば如何であらうか、或は花は凋み、甚だしきに至つては、生命迄も亡くなして終ひはしなからうか。然しそんな意氣地の無い事ではいかん、畢竟諸君は片輪の發育をして居るので一部ある事を知つて全部を知らず、全局を見れば、またその局部を忘るゝによるからであらう。諸君は二二ンが四、三三ンが九といふ普通の九々しか知らぬ、世の中に出てはさう單純にはいかぬ。往々二二ンが五三三ンが十といふ九々の必要もあるのである。世人は自分を政事家と云つてくれるが、政事家といふ者は如何なる言行が其時と場合に投合するかを知つて居るもの、自分も其位は知つて居る。然るに今かく諸君に苦言を呈するのは、即ち已むに已まれぬものがあるからである」といふ意味を話されたといふ事である。この話は新聞等でも餘り書かなかつた樣であるから、多分御存じあるまいと思ますが、あなた方はこの話は男學校の話で、秦人が越人の肥瘠を見るが如き感を持つて居らるゝかも知らぬが、全然無關係の話とおつしやることは出來まいと思ます、その男學校の中には、あなた方の兄弟も親友もあらう

六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し、或は未來の良人もあるかも知れん。然し此處にはさう云ふ關係を云ふに非ず、あなた方の學校には英學塾は英學塾、女子學院は女子學院といふ立派な看板がかゝつて居りますから後藤男が自動車に乘つて前を通りましても、まさかに片輪者養成所とは讀みはしなからうと萬々信ずるのである。只に後藤男のみに非ず、苟も具眼の士ならば、そんな間違つた讀み方をする者はあるまいと思ふ。御承知の通り英學塾は津田梅子女史及び此處に居らるゝ、河井先生等を始め、その他内外の同情厚き御婦人方の熱心なる御働らきにより、また女子學院は矢島先生を始めとし、故のミセス、トルー、ミス、ミリケン、三谷女史等の諸先生が、一世の心血を注ぎつゝ經營せられ指導薫陶の任に當らるゝ事なれば、あなた方は人爲的の温室にある以上に、温く、樂しく美はしき別天地に花咲きつゝ自然の色と香とを發揮して居らるゝのであるからよもや世の中に出てはげしき風雨に曝されても一朝にして、凋落する事はなからうと信ずるのでありますが、然しまたあなた方の心掛け一つによつては、即ちあなた方の世の中に出てからの働らき如何によつては、この名譽ある看板を汚す事なしとも限らぬと思ふのである。

○使徒行傳九章を讀むと、ポーロの再生の興味ある事實を見る事が出來る。ポーロが「主よ汝はわれに何をなさしめんとし給ふや」と尋ねると、主は「起て邑に入れ、さらば爾の行すべき事を示さるべし」と御答へになつた。即ちあなた方がクリスチヤンとなつて、神にこの問ひを發せらるゝ時に、神は汝等は寄宿舍に行けとも、教會に行けとも若くは、尼寺に入れとも、山林に逃れよとも仰せられず、邑に行け其處にて爾の爲すべき事を示さるべしと御答へになるであらうと思ふ。此處に邑と示されたのは、ダマスコを指すのであるが、當時ダマスコは貿易、その他の關係に於て、相當の繁昌を極め、多數の人が市をなし、種々雜多の者が集り、非常に喧しく、雜閙喧噪を極めて居つた處である、其處を味つて見んければならぬ。先達而帝國劇場に行つて見た中に、今日の女學生氣質を寫したものともいふべき部分があつた。それは十八才になる女が叔父の家に養はれて居つたが、所謂當世紳士の家庭の實に不潔、不愉快なる魂膽に愛想が盡き嫌になつて、そして清淨無垢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なりし昔の寄宿舍生活が慕はしくなり再び寄宿舍に歸り度いと叫んだ一幕があつたのであります。これが當世女學生の氣質を代表して居るものとすれば、誠に悲しむべき事である。この場合神は決して再び寄宿舍に歸れとは示し給はず、邑に行け世の中に出てよ、其處にて我汝に示さんとどこ迄も敎へ給ふのであります。

○

凡そ人が信仰の人として献身犧牲の生涯を送らんとポーロの如く決心し、事々に神の御心のある處を伺つて行へば、必ず神はその爲す所を示さるゝてありませう。自分が外國に行つた時、ロマの郊外に於て、ポーロの押し込められた牢屋の古跡を訪ふた事があつたが、此處は當時の慘酷なる、しかしポーロに取つては光輝ある紀念碑てあるが、その傍らに小い水溜りのやうなものが三段になつてあつて、これを三泉と呼んで居る。案内者は物知り顏に、昔ポーロが此處へ引出されて首を斬られた處で、その時首が三度はづんだが、そのはづんだ三ヶ所に此の如く泉が湧出て今に及んでをるのだと云つた。これもとより牽强附會の事に相違あるまいが、然し献身犧牲の血の滴る所、必ず靈の泉は湧出て、長に、盡ることなるかべきは疑もなき事と思ふ。あなた方は世の中へ出て信仰の人となり。獻身犧牲の生涯を送り一生の心血を注がるゝ其所には必ず無限の靈泉の湧く事と信ずるのであります。

此の如くして或は家庭に任つて、或は國家に對して、始めて眞正の平和の幸福を與ふべく、始めて眞正に偉大なる歷史を作らしむべしと思ひます。扨此眞正の偉大と平和と云ふことに就き想起すことがあります。先年臺灣に在りしとき彼の有名なる阿里山に登つたことがありますが、當時大坂の藤田傳三郎氏が經營致して居りました區域は約一萬町歩でしたが、其區域內に於て直徑貳間以上の檜の木と只こう申上けてもあなた方には御分り兼ぬるかも知れませんが、日本國中で一番の大木と稱せられるのが九州香稚の宮の境內に在る楠木で、夫れが直徑十二尺であるそうです。即ち其大木以上の檜木が百六十五本あります。就中神木と稱するものゝ如きは直徑二十三尺位、枝下百三十五尺、材積千尺〆以上扨其樹齡は何年位のものかと云ふに、表面より何等も伺ふことが出來ませんが、某林學博士が檜木の斷片を檢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

したることありしに、一寸の太りに貳百の年輪を有し居れりと云ふ、其推算に基けば、右の神木と稱せらるゝ檜木は貳萬年以上である。若し年輪の疎密もあるべしと云ふ考より之を二分の一としても一萬年四分一としても五千年、人類の創生と其時期を同ふするのでアダム、エブ、と同年と云ふ譯であります。一行其前に佇立して或は其樹齢を評し、或は其大小を論じて喧噪を極めて居りますから、私は其側より笑ふて之を止めたのであります。如何となれば其一行とは正何位勲何等とか云ふ稲荷様の仲間の様な、時の民政長官及吾々官吏の面々や、僅かに二千萬圓位の財産の番人をして居る藤田、其藤田の番頭さんや、ヤー某博士とか、某代議士とか云ふもので、御銘々ては夫れ相應に餘程えらそうに考て居らるゝかも知れぬが、人生五十七十迄生きるは古來稀なりと云ふ朝暮なる人間蜉蝣の如きものが天地間の一大怪物萬年の高齢者より當方を見られたならば、何となく慚かしいような、恐ろしいような氣がせぬかと云ふ感が起つたからでありました。又或處には谷を跨て眞直な長き岩なるが、隨分年代を經たらしきものが横つてある。其上に數千年の檜の大木が立つて居りました。能々見れば其岩なるかと思ひしものは數千年の檜木にして其木が腐朽し、其上に種が落ちて段々成長したるものが亦既に數千年の大木となり居るなど、實に天地の偉大と云ふ觀念に打たれたのであります。其際私は山中に三日間程假泊して參つたのでしたが、原始時代其儘なる森林中にあつて午夜眠に就かんとするとき、眞正の平和とは此の如きものであろうかと云ふ感を經驗したのでありますから、序に御話をして置きます。

○

なほ只今聖書を讀んで當意即妙的に氣付いた事であるが、ポーロの再生の順序が甚だ面白いとおもふポーロは其當時にあつては非常な學者、有力者、また熱誠の人であつたが、遺憾乍ら主の御心に逆ひ、聖徒を迫害し、尚も殺氣漫々ダマスコに向はんとする途中、大なる光りに照らされて地に仆れ邑に行けと示され、目が見えなくなつたものだから人に連れられてダマスコに行つた。そこへアナニヤが尋ねて來て、ポーロの上に手を按いてそれからポーロの眼より鱗の如きもの脱ちて、靈の眼が見える事が出來る樣になつて其後にバプテズマを受けたと書てあり

ます。自分が工科大學を卒業した當時同級生十九名あり、その中九人がクリスチヤンてあつた。百分比例よりすれば、今迄に無いレコードてあつた。その時の青年會の會長は故文學博士大西祝氏て、副會長が高田畊安氏てあつた。この間高田氏に遇ふと、その頃の人て今に宗敎雜誌て名前を見、消息を伺ふのはあなた位の樣てあるが、外の方々は一體どうしたのだらうといふ事てありました。何も宗敎雜誌に名を出して居るのが、唯一の證據とはならないてあらうが、しこれが適眞面目に信仰を持續して居ると居らぬの分界てあるとすると、誠に嘆はしい事と思ふ、隨分知友の中に最初は熱心なクリスチヤンてあつて今日は信仰を失つて居る者が澤山にあるが、ボーロの再生の順序を、恰も顛倒して居るのが、不思議である。即ち多くの人が、一番始めに洗禮を受ける、さうして漸く目より鱗の如き地質的のものが脫ち、少しく靈の光神の國が見えて來る、敎會にも出入し熱心に働らき、さうして長老、執事に擧げられ、按手禮を受ける。それが一旦邑に行き即ち熱鬧複雜なる世の中に出て、千差萬別の誘惑に遇ふや忽ち惡魔の奴隷となりて地に打ち仆れ、「汝荊ある鞭を蹴るは難し」と大なる光が其身邊を取まいて諭されても實に淺墓なる學問の力や、情けなき利慾や、權力にあこがれ、主の御心を苦しめつゝ、氣の毒なる生涯を終るといふ順序になつて居りますが、また以て戒めとするに足るのてあると思はれます。どうか我々はボーロの再生に鑑み、信仰の人として、獻身犧牲の生涯を送る事を心掛けたい者てあると思ひます

「亞孟」の教

川添萬壽得

亞弗加の蠻地に住む子供は、金塊や金鋼石を土塊や石片のやうに投げ合ふて遊んて居る。其の貴金屬たり、寶石たるを知らぬからてある。世の中には貴重な物を貴重と知らずに、輕々しく取扱つて居るも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のが隨分に多い。例へば佛教の「南無」といふ語の如きは「眞實」の義であつて意味深長な語であるのに、多くの人は此の意味を尊重せず、却て諧謔、嘲笑の爲に之を用ゐて居る。猫に小判、豚に眞珠とは此の如きをいふのであらう。

基督教の「亞孟」といふ語も亦右の一例で、其の意味最も深長な語であるのに、世の人多く之を知らず、極めて輕々に之を口にするばかりでなく、戯談や、輕侮や、嘲笑の意味で此の語を用ゐて居る。知らぬ事とはいひながら淺ましい次第である。抑も此の語はイスラエル人の用ゐたヒブル語であつて、數千年の昔舊約聖書の記者らに依て用ゐられ、後イエス、キリストに依ても用ゐられ、キリストより二千年後の今日でも尚基督教會の中に用ゐられて居る。昔の預言者たちや、イエス、キリストの用ゐられた語を飜譯せず、原語の發音の儘に用ゐて居るのは、此の「亞孟」といふ語である。斯る懷しき歴史ある傳來の此の語は今は世界の基督教會に通用する世界的の語となつて居る。

偖て此の語の意味は何であるか。我らは先づ聖書中にある此の語の用法を考へねばならぬ。第一、此の語はキリストに依て發語の際に用ゐられ居る。即ちキリストが何か重要な敎を爲し給ふ場合に、「誠に我汝らに告ぐ」といはれた。其の「誠に」といふ語がすなはち「亞孟」である。馬太傳には此の發語が三十回も出て居る。馬可傳には十三回、路加傳には六回（本書はヒブル的に書いたものでないから自から此の語少いわけである）。約翰傳になると此の發語が何時でも「誠に誠に」といふやうに重ねて用ゐてあつて、其の數は二十五回に達して居る。而して此の發語はキリストだけが用ゐられたものでキリスト以外に之を用ゐた者は無い。十二弟子たちも用ゐなかつた。使徒パウロも用ゐなかつた。これは余程意味のある事で、眞に「誠に」言ふことの出來る者はキリストの外にないからであらう。「誠に」と發語するのは容易のことでない。普通の人間は完全な「まこと」がないから、此の發語を用ゐる資格がない。唯キリストのみ之を用ゐ得たのである。

次に、語句の終に用ゐられた「亞孟」がある。例へば申命記第二十七章十五節以下にある用法で、モーセがイスラエルの民に種々の事を告げ知らす時、其の一事一令の語の終る毎に民をして「亞孟」といはし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めたやうなものである。(民數記略五章二十二節も其の一例である)。又羅馬書一章二十五節の如く神に榮光を歸する場合にも此の語を用ゐて居る。(羅、九ノ五、加、一ノ五、弗、三ノ二一、腓、四ノ二〇、前摩、一ノ一七及び默、一ノ六の如きは皆此の例である)、又書翰の終に此の語を用ゐた場合もあるけれども其は極めて僅少のことである。日本語の聖書には福音書でも、書翰でも其の終には必ず此の語が見えて居るが、これは最古の原本に據つたものではあるまい。又馬太傳六章にある主の祈の終にも原本には此の語があつたわけではない。

又「亞孟」は祈の終に用ゐられた場合もある。例へば尼希米亞記第五章十三節の如く祈の終に、會衆が皆亞孟と言ひてヱホバを讃美したと書いてある。同書の第八章六節に、エズラが大神ヱホバを祝した時に民みな手を擧げて亞孟々々と言つたとあるのも其の一例である。哥林多前書十四章十六節を見ると當時の教會に於ても祈の終に人々が亞孟と言ふの例があつたことが明である。

今一の用法は神とキリストとの性質を表すところの亞孟である。以賽書六十五章十六節に「眞實の神」といふ事が二回見えて居るが、此の「眞實」が即ち亞孟であつて、眞實の神とは、取りも直さず、亞孟の神に外ならぬ。默示錄三章十四節には、キリストが御自身の事を「亞孟たる者」と言はれて居る。即ち神とキリストとの性質は亞孟である。

右の用法を一瞥しただけでも此の語の意味は大略分る事であるが、今試みに其の語源を尋ねて見ると此の語はヒブル語の「アーマン」といふ動詞から來て居る。「アーマン」とは「支ふ」の義であつて、物の左右前後に傾くのを支へて直立せしめ、右にも左にも倒れぬやう、ぐらつかぬやうにすること、即ち直立、堅固、確實、眞實、又は信任すべきもの、あてになるものを意味する。一語にして之を盡さんとせば亞孟とは「まこと」であるといふことが出來る(尙或人は此の語は詩篇などに用ゐられる時「アー」と「メーン」と兩方の綴に高音符があるので、アー、メーンといふ風に同一の調子で發音する語であるから、餘程意味の充實した語であるといつて居る。これは餘り重を置き過ぎてはならぬけれども一寸面白い點である)。

斯く調べて來ると、亞孟の意義自づから明になる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

即ち亞孟は神である。天地の大道である。宇宙の本源は亞孟に外ならぬ。神は「まこと」即ち亞孟であるから、神の治むる世界も亦亞孟である。「まこと」を知るには「まこと」を以てせねばならぬ。宇宙の秘密を開く合鍵は亞孟である。自然の法則の如きも「まこと」であつて、「いつはり」かない。電氣は動體にのみ傳はつて不動體には傳はらぬ。草木は水と日光とのある處に生長して、其の無い處には枯れてしまふ。これ皆亞孟であるからである。學理の發見は亞孟の鍵で亞孟の錠を開くことである。「求めよ、さらば與へられ、尋ねよ、さらば遇はれ、叩けよ、さらば開かれん」とは此處の道理を示したもので、人若し亞孟を以てすれば、宇宙一切の秘密を知り得るといふことを敎へたものである。

神は最も大なる亞孟であるから、之を知るにはまた大なる亞孟を以てせねばならぬ。「こゝろみにいざや呼ばん山彦のこたへだにせば聲は惜しまじ」といふやうな誠意と熱心とを以て神を求めたら、必ず神は其の人の叫びに應へ給ふ。山中に入て聲高く叫べば、山ひこが應とこたへるやうに、宇宙に對つて亞孟の叫を發すれば、何處からともなく、之にこたへる者がある。亞孟は神と人との合言葉である。人より呼んで神の應へぬ例はない。世間には神を求めても之を知ることが出來ぬといふので「我求めたり、されど與へられず」と嘆息する人がある。併し、其の人は何れだけの亞孟を以て神を求めたであらうか彼は果して「まこと」の心で神を求めたであらうか。此の點をよく〳〵考へて見ると、人間は案外「まこと」即ち亞孟の少いものである。眞理を究め、神を探るなど〻言つて居る人は、幾何かの浮いた心、或は虚榮心といふやうなもの〻無いことが稀である。「まこと」ある者、即ち「心のきよき者は神を見ることが出來る」「其の心に神なしといふ者」は、亞孟のない者であつて、聖書の敎ふる通り「愚かなる者」に外ならぬ。

神を求むるは人心最後の要求である。此の要求は人の亞孟である。而して神は此の要求に應ふるに亞孟を以てせられた。イエス、キリストは即ち神が人心の「まこと」の叫びに對して「亞孟」とこたへて現れ來つたものである。これ我が愛しむ子、汝ら之に聽くべし」といはれた。キリストは「昨日も、今日も何時までも變らざる」神の亞孟を表して居る。然る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に人間は勝手なもので、神に對してのみ大きな要求をなして置いて、神が其の要求を聽き、獨子を賜ふほどに其の亞孟をあらはされたのに、人間の方からは之に對して「まこと」を盡さうとしないのみか、反つて其の亞孟を侮辱するやうな態度を取て居る。此に人間の罪がある。罪とは人が神の亞孟を侮辱することである。キリストは人間に對して神の亞孟を表されたばかりでなく、また神に對して人間の亞孟を表された。此の意味に於てキリストは「亞孟たる者」である。我らはただ此の亞孟に依り縋ることによつて救はれるのである。

神は亞孟である。神の造り給ふた宇宙も亞孟である。天地間の森羅萬象悉くこれ亞孟の發現であるといつても可い。而して神は常に其の世界に亞孟を求め給ふ。特に「其の像にかたどりて造りたる」人間に對して亞孟を求め給ふ。白晝提灯を點し、市中を徘徊して人間を求めたのは希臘哲學者の奇行に過ぎない。併し神は眞實にして且熱烈なる心を以て常に「まこと」の人間を求めて居給ふ。創世記にはアダムがエデンの園で罪を犯し、樹の蔭にかくれた時神がアダムを呼んで「汝は何處に在りや」といはれたことが書いてある。アダムとはもと人間といふ意味の語であるから、神の此の言はまことの人間の在處をさがす言とも聞える。「汝は何處に在りや」、何たる悲音哀調の言であらう。宇宙の悲劇は實に此の一言に始つて居るといつても可い。人が神を求むるよりも偉大なる熱心を以て神が人を求めておいでになる。求めて得ざる悲哀は人間にあるよりは寧ろ神の方にあるではないか。「汝何處に在りや」との神の聲に應じて「我此處に在り」とこたへる事が出來ぬほど人間は亞孟を失つて居る。イエス、キリストは人間の爲に此の失はれたる亞孟を回復し、「人の子」として神の前に人間を代表せられた。神はキリストに於て始めて「まこと」の人間を見「これ我が愛しむ子我なんぢを悦ぶ」といつて非常なる滿足の意を表せられた。人間はイエス、キリストに依て始めて「亞孟たる者」となり、一度び破れたる神との交りにかゝる事が出來るやうになつたのである。アダムはエデンの樹の蔭にかくれて居たから神の聲にこたへる事が出來なかつた。基督者はキリストの中にかくれて居るから、何處でも「我此處に在り」と應ふることが出來る。これ全くキリストの亞孟のお蔭であると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いはねばならぬ。
今日の憂は亞孟の欠乏にある。個人にも、社會にも、國家にも亞孟が欠けて居る。何を以て之を救ふことが出來ようか。我らは「亞孟なる者」の亞孟の敎こそ人を救ひ、國を救ひ世を救ふ唯一の力であると信ずる。而して此の亞孟の敎を益聲高く世に宣傳せんと志すものである。

幼兒の宗敎心に就て

豐明幼稚園
南高輪幼稚園主任　甲賀藤子

○俗に用ひらるゝ宗敎的の言葉

私が毎日幼兒に接して居りまして、果して子供に宗敎心を養てよいものかどうか、常識的に然も經驗の上から二三の例をとりまして御話致してみたう御座います。扨て昔から今日まで敎育あるもの、無いものを問はず、特に家庭に於ては子供を育てゝ參りますに「閻魔が舌を拔く」「正直の頭に神宿る」とか或は「御飯をこぼすと目がつぶれる」「壁に耳あり障子に目あり」と云ふ樣に、暗々裏に人間より偉大なる者をかりて、敎育の方便として居ることは疑ひのないことで、それがまたどれだけ子供に影響を及ぼして居るか知れません。

△お太陽樣とお月樣

私がまだ三歲位の時て御座いました從姉と二人遊びに出かけます途中、近所の百姓屋の柿がそれはそれはおいしそうに熟して居るのを見て、子供心に欲しくてたまらなくなりましたので、ふと手をのばして取ると、いきなりその家の主人にどなられ、肝をつぶし柿を捨て一生懸命逃げて歸へり、こわくてたまらず、二人て押入の中にかくれましたが、子供のことゝてそれなり忘れて居りました。ところが次の日父に呼びつけられ「お前か柿を取たそうだが、誰も見て居ないと思ふても御太陽樣がちやんと見て御出なさる。御前が何處に行ても晝は御太陽樣がついて居て、することなすこと皆見て居るし、又夜になると御月樣が見て御出になる。それだから決して惡いことは出來ない」と申して叱られてから、太陽も月も自分につきまとう樣て、恐しくてたまりませんてした。それから決して惡いことをしてはならないと云ふ觀念が起りました樣てす。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一、神は常に　近く居て
言葉も業も　皆知れり。
二、神は常に　近く居て
暗き夜中も　みそなはす。
三、神は常に　近く居て
幼き子等を　守ります。

父は太陽とか月とか申しましたが、父の言葉は右の歌の意味がよく表れて居ります。

△神樣の罰を恐れし事

又丁度その頃て御座いました。別にクリスチヤンと云ふわけてもなかつたのてすが、藩主からの御命令て形のある神樣は皆燒てしまへ、それより以上の神があるのだからと云ふことてあつたそうてすが、或る日父が神棚から神樣をおろして居りますのを見て、神樣なんかおろして罰があたらなければよいがと、怖く感ぜられました。

△神樣はどこても見て居らつしやる

またある日曜學校て先生が「神樣は何處にてもいらして、何ても見ていらつしやる」と云ふ御話を致しますと、今迄さんざん悪戯して居りました子供がふと「先生神樣が頭の中も御覧んなさるのてすか」と申しましたから「えゝよく御覧になります」「それおや身體の中もてすか」「身體の中も又どんな暗いところても、どんなすみてもすつかり御覧なして居ります」と申しますと、驚いた様な顔して、それから眞面目に聞て居りましたそうてす。とにかく子供は先生がなにより偉い者と思ふて居りますが、これも無理のないことてす。

△兒童は先生を何よりも信ずるもの

本當に子供が先生を信ずることの甚しい例を申しますと、或る日先生が御風呂にいらしたと云ふのを聞て、先生ても御風呂にいらつしやるのかしらと驚いたと云ふことを聞きました。或る日曜學校て生徒から大變信用された先生てすが、あとて大變つまづきになる様なことを致しましたが、その生徒が大きくなつてから私があんな先生に敎へられたり、叱られたりしたかと思ふと殘念だと申して居りますのを聞て、冷汗を流しました。

△鳥に巣の作り方を敎へた方

それから或る日宗敎的の幼稚園て鳥の巣を見せまして、これをまねして御覧んなさいと藁をやりましたが、やがて出來上たのを見て「先生矢張り鳥の方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が上手ですね」と申しますのに驚きまして、急に言葉も出ませんでしたが「ほんとうに鳥の方がよく出來て居りますね、誰に敎へてもらつたのでしよう」と申しますと、暫らく考へてから「鳥の御父樣でしようね、先生」「それぢや鳥の御父樣には誰が敎へたのでしよう」と聞きますと「天の御父樣でしよう」と申しますのには感服する外御座いませんでした。

△信者の家庭に育ちし子女

また或る信者の御家庭の御子樣で御座いますが、「母は私の幼い時に、遠くに居る姉やら兄のために祈り、また私の爲にも祈て下さいましたから、今自分が遠くはなれて、淋しく、物悲しく、望鄕の念に堪へられない時でも、定めし私のために祈て居て下さることであらうと思ひまして、なにとなく心丈夫に感ぜられます」と御話なされたことが御座います

△幼兒の宗敎心

以上は單に二三の實例にすぎませんが、皆樣もさぞいろいろな御經驗が御座いますてせう。とにかく幼兒には宗敎心のあるものかどうかと申しますと、私の思ひますには幼兒程完全な美しい宗敎心のある者はなからうと存じます。然し小兒は一番自分に近い者を信ずるもので御座いまして、其の第一着として父母、兄弟、姉妹を愛し、友を愛し、師を愛し、國を愛し、人類を愛し、茲に始めて神を愛するので御座います。なぜ小兒が萬物の父を愛するより先に父を愛するのであらうかと申しますに「見るところの兄弟を愛せずして、見えざる神をいかで愛せんや」「神を愛するものはまたその兄弟をも愛す」との聖書の言葉は不朽の眞理で御座いますまいか。キリストは「天國に居るものはこの嬰兒の如きものなり」といはれましたが、私共は神の表現者なる貴き小兒に接して居ることの出來るのは、無上の幸福であり、慰安であるので御座いますが、願くは此の無垢淸淨な小兒を、長へに神の表現者としての美質を失はしめぬ樣にしたいもので御座います。

我が家族の一日

岡山孤兒院内　佐々榮子

悲しき運命の下に置かれし孤兒を救ふには、何よりも溫き家庭を與ふる事が大切であります。岡山孤兒院の創立者石井氏は特にこの點に心を用ひられ、數百の院兒を長幼交へて十人宛とし一人の保護者を置きて、一家族として居ります。この保護者な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

子女は「お母さん」と呼んで居ります、わが友佐々榮子氏は高等の學府を終へ、まだうらわかき身を、感ずる所ありてこの事業に投じ、數年前より哀れなる子女の母となりて、その教養に餘念もないのであります。嘗ば院内の小學校に奉職せらるゝので寸暇なき折柄、殊に數日來風邪にて臥床中、本誌の依賴に應じ快き折、床中にて筆とられたるが、左の一篇であります。願はくば讀者諸姉と共に同院の上に益々神の保護の加はる樣、併せて同姉の御健康の一時も早く回復せらるゝ樣御祈り致し度きものであります。(三四子)

△朝

朝は五時前に家族一人殘らず起きて掃除。七つになるはるちやんはお庭はき、十一になるとしちやんは食堂の用意、十三のきくさんはお母さんと一緒に臺所にお炊事の手傳と云ふ樣に、各受持ちの當番がありますかやうに皆が働く間に最年長のお姉さんがお室の掃除して、一人一人の名を呼んでは髮を結んでやる。女の子供だけあつて「お姉さん今日は三つ組にして頂戴」など注文するのもある。やがて皆々仕事が終ると、お母さんを中心に一同食卓を圍んで、樂しく朝の御飯をいただく。米六分、麥四分の御飯も皆美味しく食べる。

△學校

八時から皆院内の學校へ行く、小學校は規定の認

可を得たるものにて、教科は普通の學校通りであるが、異る所は院兒の教育は義務教育なる六年終了後更らに進んで學ぶべき爲めならず、直ちに之れを各自の生活に資する事なれば、出來得る丈け實際的にし、普通生活に必要なる教材をとる。例へば女兒の算術には裁方を、又綴り方には意味の通じ得る丈けに手紙を書き得る樣にし、尙女兒等は、自分の衣類は自分にて處置する必要あれば、上級は半日裁縫とし、下級にても一日に一二時間は課し、洗濯、張物も共に教ゆ。その他一週に一度、全校一教室に會し談話會を開き、教師司會して、豫じめ順備せられたる各學年の者談話をなすもあり、唱歌を歌ふもあり讀本雜誌を讀むもあり、その材料、種類一切は、子供の爲すに任せたり。之れが爲めに學校内の一室に少女倶樂部置かれ、寄送されたる雜誌、お伽噺、繪本を置きて、課業のひま〳〵隨意に讀ましむる故、子供等は喜びてそれを讀み、談話會の材料も大方此處より出て、兒童等はかやうにする事により讀みたる文の大要を悟り、またよきお話は修養にもなる。且つともすれば引込み勝ちの缺點を補ふ事ともなる

△菜園作り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

また院の主義とする勤勞生活を教ゆる爲め、學校にも家庭にも菜園あり教師と共に、お母さんと一緒に、放課後は甲斐々々しい姿に鍬持ちて、草取りもすれば、肥料もやり、種子蒔きより、收穫迄一切の手入れをする。これは勤勞を教ゆるのみならず、美しき自然に接して、すさぶ、心を柔げ、不可思議なる天地の力を窺ふ事を得、また健康にもなれば、出來たる作物は朝夕の食卓に上ぼす事も得るのである

△お母さん

子供等の學校にある間は、お母さんは家にありて衣服の手入れ、食事のこしらへ等、十人の家族なれば仕事も澤山あるが、たゞ〳〵この足らぬ生活の中にいかにもして兒童に滿足を與へてやり度いと思ふ心は、世の親心と異る所はない。たゞ此處ら邊りに寄り集ふた子は、境遇遺傳により、曲つて居るのも縮んで居るのもある。之れを集めて子と呼び生活する責任は重く、なみ〳〵ならず骨が折れる。母として子供が學校でどんな事を習つて居るかを知らなければと云ふことから、教科書の研究會も開かれて居る。また毎月、日を定めて、體量や身長も計つてやる。

△夕

學校より歸つては、又それ〳〵の用事をする。小さい者は歸りが早いので、お母さんの仕事する傍でね、様ごとや、お手玉などして遊ぶ。夕食は一番樂しい時で、學校であつた事を思ひ〳〵につげる。「お母さん今日は體操の時に競爭して、私一等つねちやん二等でしたよ」と報告すると、「私お裁縫を上げましたから、明日は前掛けを出して頂戴な。それから三年の先生が私共の家のお道具で、一番よく働らくものは何ですか、お母さんにあてゝもらつてお出てなさいとお仰しやいました」などいろ〳〵出る。三十分位は費す。すめば運動に出る。明朝のお汁の實をほりに鍬を持つて畑に行く事もあれば、二三人をお母さんが連れて、町に買ひ物に行く事もある。運動場には流動圓木にすきまもない程乘つて、唱歌を唱ふ。シーソーに大聲を上げるのや、一二の三て十人程がまはりブランコに圓を作つたりして居る。燈のつく時分迄は院庭の賑はしさは格別である。それより家に入りて夜の集りをする。一つの卓を圍んで、司會は年順にする。讃美歌を撰び、祈りをするのも凡て司る子供らがする。捧ぐる祈りの僞りのない詞

は、實に神の聲とも思られる。終れば小さいものは挨拶して床につく。他の者は明日の勉强の下讀みをする者もあり、何もないものは雜巾をさしたりして八時半頃には皆床に入る。

△日曜日

日曜日は朝全院會堂に集り、牧師の說敎を聞く時もあり、敎師のお伽譚、訓話を聞く時もある。この一日は全くの休日として、山に摘み草に行く者もあれば、家に居てお人形を出して遊んだりして居るものもある。宗敎は特別に敎ふる事なきも、院內の人凡てが基督敎を信ずる人なれば、知らず識らずの間にその空氣に感化され、信仰を持つに至る。その結果は思はぬ所に現はるゝなり。先日十二歲になる女兒が實家より引取りに來て、これに渡したる所、その家庭にてはこの子供を養育するにあらずして、遊廓にやりたるに、その子供はいかほど强ひられても三味線、踊は彈かず、踊らずと云ふて聞かず、働らく事はいくらでも働らけど、かゝる事には決して從はずと、堅き決心を現はしたるにぞ、雇主も遂にその動かすべからざるを知り、改めて羽二重織場の工女として働かする事に定め、此處に送られたり。その後この子供は極めて忠實に勤め居る由、貧家の子として美麗に、遊樂に、心を動かされざりしは院內に養はれたる日、かゝる者の卑しむべく、惜むべきを敎へられ、勞動勤勉の貴きを知りて、その正しき道につきしならんと思はる。

△只神の聖意のまに〳〵

もとより惡しき境遇に生れ、恐ろしき遺傳をもてる者多き子供等を集めたる所なれば、普通の敎育の上に、更らにその惡弊を矯め、曲れるを直くし、鈍き道德性、誘惑にかゝり易き性を磨き、善き性を育つる困難は、云ふもをろかに且つこれを敎養するわれ等の至らざるを恐るれど、たゞ〳〵神の聖意に叶ふ生活の內に、上よりの御力にすがりて彼れ等を導かんとするより外なし得る所にあらず。たゞ恐るゝは、世の人の「何を云つても孤兒だから」との言葉の下に、通例の人より賤しき取扱ひをせらるゝ事あり。彼れ等の弱き德性のいかでこの迫害に忍ばるべき。願はくは情けある人々、彼れ等の心靈の生れながら弱きを思はれて、弱きを頒ち給はんことを。

耶蘇の說きし救(三)

柏井生

(五)悔改及心回心

耶蘇は其の傳道の始に於て『期は滿たり神の國は近けり汝等悔い改めて福音を信ぜよ』(可一〇十五)と云ふことを說敎せられた。それで見ると悔改が先で信仰は其れに次いで起るやうである。しかし此の處は敢て兩の者の順序を說いたものでない。悔改の無い信仰は眞の信仰と云はれぬが、又先づ多少信ずると云ふことがなければ悔改の心も起るものでない。故に耶蘇はたゞ悔ひ改めたと云はれぬ、神の國と云ふ理想を見せて悔改を促すのである。余が前回に於て信仰を說き、次に悔改に及ぶのは必ずしも順序を倒にしたものでなからう。

耶蘇は『罪なる人を招きて悔改めしむるため』(可二〇十七)に此の世に降つたと云はれ、又一人の罪より人悔改めなば天に於て喜びあることを說かれた如何に彼が悔改と云ふことを重じたかと云ふことゝが解る。是に於て彼は自ら敎を宣べ彼は奇跡を行ひし土地の人が悔收めざるを嘆き又責められた(太十一〇二十)。昔しニネベの人はヨナの敎を聽きて悔ひ改めたと云ふ事が舊約聖書に記してあるが、今やヨナよりも偉大なる者があるに猶ほ悔ひ改むることをしないのは耶蘇の限なき遺憾を以て悲まれた事であつた。

悔改とは何であるか。希臘の原語は『メタノイヤ』(metanoia)と云ふ。心を變へる或は心を改むると云ふ意味の語である。悔改とはどのやうなものであるかを示すものは路加傳第十五章にある放蕩息子の譬喩である。放蕩息子は己れに歸つた(十七節日本譯の聖書には『自ら省悟て』と譯してある)。然して彼は父に歸つた。要するに悔改の眞意は神に歸ることとである。基督の福音の眞髓も神に歸るに外ならぬ。それで悔改と云ふことが大切になつて來る。

根本の精神が改まるのが悔改であるが、かゝる變化の在る所には、一種特別な情調が動いて居る。英語にペニテンス Penitence と云ふ語がある。憂悔

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とても譯すべきか、己の罪を悲みて心を傷め砕けたる靈魂を神の前に捧げて謙だることである。この心は舊約聖書の宗教に源を發して居る。詩篇第五十三篇の如きは最も良し此の心の態度を示すものである贖罪祭の如き禮拜の式にはこの精神を表す所のものがある。エゼキエル十一〇十九に石の心を取り去りて肉の心を與へらるると云ふことを記してあるが、憂悔の心は即ち肉の如き柔な心である。耶蘇の敎のうちでこの處を良く表して居るは、路加一八〇十三にある税吏の祈りである、『税吏は遙に站つて天をも仰ぎ見ず其の胸を擲て神よ罪人なる我を憐みたまへと云へり』。

人をして悔改めしむる動機は神の愛と惠に外ならぬ。彼は罪ある人を招きて悔ひ改めしむると云はれた。罪ある人を責め或は脅すも悔改めしむるでなく招くのである。招くと云ふ意味を最も良く表して居るは馬太傳第二十二章一節以下にある國王が其の子の婚禮に客を招く譬喩である。客を招くまでの準備し招きに應ずるものの幸に招きしものの來らざる時の主人の失望はいづれもこの話に表れて居る。又馬太傳二十三章二十七節以下に基督が人を招く心を牝雞が雛を翼の下に集るにたとへてなる。ヂプシイスミスと云ふ今日力ある傳道者が先年米國に渡つて非常に大きい働きをして歐羅巴に歸る時送別會の席上て米國で有名な牧師ヒクスが演説してスミス氏の成功の秘訣は其の人を誘れ引く調子(wooing note)にありと云ふたさうである。耶蘇は、人の悔改めて神に歸るを待ち焦かれ給ふ神の慈愛を知らしめて人を悔ひ改めるやうに誘引した。招くと云ふのと少しばかり意味の違ふ語は「尋ぬる」と云ふ語である。ただ來れと招くのみならす此方から進んで探し求めるこれ耶蘇の說かれたのみならす、實際行られた事である。

しかし耶蘇の執られた方法は悉く一の型に入られた譯のものでない。時には必要に應じて人を脅し或は叱責して悔改めしめんとしたこともある。『シロアムの塔たほれて壓し殺されし十八人はエルサレムに住めるすべての人々よりも益りて罪ある人と意ふやはれ汝等に告げん然らず汝等悔ひ改めずは皆同じく亡さるべし』(路十三〇四)と云はれた。我々は時に耶蘇のこの嚴しい御言を聽き、肅然として深く省ねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悔改と路ぼ同じ意味の語は回心(Conversion)である。この語は馬太十三〇十五、十八〇三、馬可四〇十二、路加二十二〇三十二、約十二〇四十に出て居る。舊き英譯には「回心なる」と譯してあつて改正英譯には turn と譯してある。つまり心の向きが變ることである。日本語の聖書譯には『改まる』或は『かへる』と譯してある。以上擧げた場處につきて良く其の意味を調ぶるならば有益である。『改まりて嬰兒の如くなる』と云ふ語を考へ見よ。耶蘇の嬰兒のまゝにてあれとは云はれぬ、知慧もあり力もあつてそれが回心によりて、單純な謙遜な順良な小兒の如くなるのである。又ペテロに向つて『汝歸らんとき其の兄弟を堅くせよ』と云はれた言を思へ。ペテロは三度耶蘇を知らずと云ふほど大事に臨んで失敗した。然れども彼は鷄の聲を聞きて外に出て『思ひ反して哭き悲しんだ』(可十四〇七十二)。こゝから兄弟を堅くする力、即ち他の友を率いて信仰の戰をたたかふ勢力が發した。

猶此の點につきてヨハネ傳第三章に新に生るると云ふことを說かれた所は種々の貴い敎に滿ちて居る人が新に生るることとは神の國を見ることとである、新しい社會に入ることであることも說かれてある回心には社會的の側面がある又人の新に生るゝ勢力は神の靈に存することも敎へられてある。

（六）罪の赦

耶蘇は人の罪を赦し(可二〇九路七〇四十八)、又罪の赦されん爲に祈るべきことを敎へ給ふた。神は悔ひ改めて罪の赦を求むる者を赦すことは、放蕩息子の譬喩に於て父が其の子を赦した處に良く現れて居る、赦すと云ふことは愛から發するか又赦さるる所から愛を發する。路加傳七〇四十七に『此の婦の多くの罪は赦されたり之に因て其の愛も亦大なり赦さるること少き者は其の愛も亦少し』とある。愛の多少が赦さるることの多少に比例すると云へば何だか之現金的のやうに聞こゆるが、これは赦されたとの大なるを感ずる念が深ければ深い丈け神を愛する念も深いと云ふことを云つたものであらう。

基督敎ほど赦すと云ふことを重ずる敎はない。古代の道德と近代の道德とを區別する一の明な分界はつまり赦すと云ふ法則の有無に存する。基督敎以前でも互に恕し赦すと云ふことはないことはなかつたが、これは元から相親しかつた朋友や親戚の間に不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

快な事が起る、それを忍び又赦すと云ふ方の事が多く、彼と我とは害した害せられたと云ふ外別に關係のない間柄であつて、彼も人なりと云ふ譯を以て之を赦すと云ふことは基督以前の道德には見ることの出來ない現象である。こゝに基督敎の大なる貢献がある。これはシイリイ敎授が『エッケ、ホモ』と云ふ書物のなかに詳に論じてある事である。斯の如き道德の起つた源は神が罪を赦す神であると云ふ觀念に存する。互に赦し合ふ精神のない人は亦神から赦を受けることが出來ぬ。

ペテロが耶蘇に向ひて『主よ幾次まで我が兄弟の我に罪を犯すを赦すべきか七次までか』と問ふたとき、耶蘇は『七次とは言はじ七次を七十倍せよ』と答へたまふた。これは決して罪を輕く見る譯ではない。但赦と云ふ神から出た貴い精神を、人間の淺い考から制限程度を附して規則のやうなものを作らうと云ふ誤を破られたものである。神は罪に對して限無き不滿足を有ちたまふとともに罪を赦すと云ふ心も亦限り無く寛い。神は如何なる罪をも赦したまふのである。

『人々の凡て犯す所の罪は赦さるべしされど言を以て聖靈を瀆すことは赦さるべからず』(太十二〇三十一)と云はれたが、聖靈を瀆す罪とはどのやうなものであるか。十分に解釋することは困難であるが、これだけの事は分る、即ち神から來る所の靈なる感化に反抗して故意に心を頑にし善くなる機會に離るるものは何時までも赦しを受け得る條件が出來ないものである。

神は斯くまでも大なる愛を以て人を赦す神であるとすれば、猶更我等は赦す爲に何等かの道が立てられてなからうかと問はんとする。こゝに於て贖罪と云ふ問題に到著する。

口繪說明

ウヲッツは英國十九世紀の人、「希望」はその傑作にして、原圖は凡て暗き紺青色をもて繪かれたり。傷つき疲れたる女の手にせる琴は破れて僅かに一弦を殘し、覆へる眼の一方を揚げて仰げる天には黑雲の中に一つの星輝けるを見る。暗示に富める此の繪の解釋は自由なるべし。絶望の極、僅かに見出でたる一縷の望こそ、限り無き未來を含む希望中の希望と見るべきか。「彼れは絶望の境にありて、なほ望をもて多くの國民の父と爲らんことを信ず」羅馬書四の十八」てふ不斷の意志の表象と見るべきか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文苑

聖盃

風江

此の物語は意外に長くなつた。然し四月七日はイヽストル日曜日に相當し、我等は今主耶蘇の受難や復活の事實を懷ひ、儼かに其の意義を考へて居ることである。幸にして此の物語は又此等の問題に就て深い教訓を與へるものがある。例へばアムフォルタスが聖盃を取り出す毎に其の癒えかかつた古疵が新しく再び破れて苦痛に堪へざる邊の如き、罪惡の苦痛が甚だ深刻に描かれてある。又一人の罪の爲めに如何に多くのものが苦しまねばならぬかも思はせる。而して之を全く癒し得るものは、主の脇腹を刺した槍の外はなかつた。十字架の苦痛と其の救ひの力、復活の喜びと其の新しき力を學ぶことが出來る。此の外の幾多の辛酸と罪惡とに悩み窶れた妖女さへも、此の復活の力に由つて、身も心も若くなり潔くなり、此の世ならぬ美しさが輝くやうになつたなどは、限りなき趣味を暗示とに滿ちた物語である。

三

バルシファルは周圍を見廻はすと、今まで花園と思つたは、茂つた森の中で、人跡絶えたところである。只だ日の光と青い天空とか此の間から見えるばかりである。何方に行つてよいか、何處が聖盃の神社であるか解らない。然し貴き槍は彼の手にしつかり握られて居る。之を見ると譬へやうのない快感を覺える。

路もない森のなかではあるが、彼は神が必ず己れを導かれるに違ひない、此の貴い槍に自分を守護してくれるに違ひないと信じて、何人にも疑はず直驀に進んだ。かくて森の盡くるところに出ると、不思議な村落がある。

バルシファルは斯の如くして武者修行を始めた。其の往く先き／＼には辛いことや、嫌なことが多いけれど、彼は少しも呟かず不平を云はなかつた。貧しいものや、苦しめるものを助け、幼児は友達の如くに親んだ。

險しい山坂を幾度か越え、燒けるやうな砂漠を横

切り、様々の危險を冒した。彼は少しも氣を挫かず直往邁進した。同時に色々なことを學んだが、決して幼年の頃の純潔と勇氣とは失はなかつた。

それに聖盃の大なる眞理が次第に彼の心に解つて來た。人々が之を尊び、地上の最も高價なる寶として慕つて居ることを見た。隨つて假令知らなかつたとは云へ、自ら、何故輕々しく彼の神殿を去つたであらうかと考へ、また年老いた門番の武士が變な顔をして自分と別れたときのことを思ひ出す。そして彼は謙遜して祈り、再び彼の貴き盃を拜するやうになりたいとの希望を懷いて之に適當したものにならねばならぬと決心した。斯う覺悟をきめると共に其の心に激しい苦痛を感ずることがあつても、彼は「勇め、聖盃のあるところは遠くない」との微かな聲を聞いた。

幾年か經つて、パルシファルは勇んで修行を積んで、到頭立派な武士になつた。少しも浮華なところなく、飽まで強く、正直に、思ひ遣り深く、其の顔は清く喜ばしさうに、常に内心の光に照らされて成長したものゝやうに見えた。其の眼は眞理の鏡のやうであつた。恐怖を知らず、毫も過失なき古への理想の武士の俤がある。最も剛膽な擧動をなし、最も人の爲めになるやうなことをなし、再び聖盃の神殿に到らんことを明け暮れ志して居た。

或る夜、路を失つた羔の鳴く聲が聞えた。パルシファルは宿るにはまだ餘程遠く、其れに暴風雨も猛り狂ふて居たが、更に躊躇せず、踵を廻らし此の小さな迷へるものを見つけるまで暗黒の中を探り到頭其れを外套に包んで母羊のものにつれて來た。そして自分は再び宿の方に復らうとすると暴風雨の爲めに路が解らない。迷ひ迷ふて深い森の中に這入つて了つた。然し夜の闇黒でも其の光景が能く見えた。彼の心は波高く打つた。聖盃か間近にあることを感じた。

電光の閃きによつて岩に添ふた洞窟のあるのを見つけ、彼は感謝して其の中に入り一夜を明した。

翌朝太陽は快く暖かに輝き、木々の濡れた葉はキラ〳〵と光つて居る。パルシファルは森のかなたに金色の光を認め、其の方に進んで行くと、すぐ其の足下に小さな湖がある。それは彼が久しい前に鵠を射殺したところて、向ふの丘には聖盃の神殿が建つて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

パルシファルは槍を地に突き立て、跪いて祈り最早自分の巡歴の終つたことを喜び、起き上つて丘の方に進んだ。

年老いた門番のことを思ひ浮べつゝ遣つて往くと恰度向ふから老人がよろめきながら來る。一人の婦人が彼と一緒に歩いて居る。何うも見覺えがあるが思ひ出せない。是れはかの花園に居た巫女のカンドである。花園破壞以來己が罪を悔い、此所に來て水を汲んだり、下女の仕事をして居るのである。

門番は立派に武裝した武士が身動きもせず立つて居るのを見て、丁寧に挨拶した。

今日は。貴殿は御神殿を拜見に御越しになりましたか。が此處は御存じの通り聖地で御座いまして、武器を携へたり、冑を着たりすることを禁めてあります。

此の言を聞いてパルシファルは直ちに槍を地上に抛ち、冑を脱ぎすて、跪いて神殿を拜んだ。其の時始めて老人は之がパルシファルであることを思ひ出した。

『此方はあの鵠の方ですよ』とカンドライも叫ぶ。

『此處に持つて來らしたものを御覽なさい。貴い槍をさ。到頭槍が戻つた。何んと喜ばしい日でせう。』

パルシファルは起き上り、老人の顏が愛と喜とに輝くのを見、兩の腕をさしのべて喜ばしく之を抱いた。

『御目出度う、御老人。私は再び御目にかゝることが出來ないかと思つて居ました。』

『おゝ私を記憶えて居ますか。もう久しい前ですね。偽りのない青年だが、少し氣が狂つて居ると云つて貴方と別れてからと云ふものは、色々の悲みや心配で此んなに脊も歪みましたよ。』老人は云ふ。

『本當に然うでしたね。だが幾多の失敗や、艱難や試煉を經て、かの神殿で歌はれる不思議な文句の其の誠實なものが到頭與へられましたよ。』パルシファルは俯ほ語を次いで『其れは然うとして、御神殿には何にも變つたこともありませんでしたか。私は諸方巡歴中屡々聞きましたか、サルヴアト山は喜び滿ち、何れも彌生の春のやうであつたさうですね。本當でしたか。其れは一片の夢ではなかつたでせうか。』

『本當に然うでした。然し其の後悲しい日が來ました。アムフォルタスさんは疵の痛みに堪へられない

ので、聖餐のときにあの貴い盃を用ゐることをすつかり止めて了つた。それからと云ふものは皆んなの心は悲しい思ひばかりだ。恰度修道院か何んかのやうに室のうちに閉ぢ籠つて了つた。チンレル老人はもう再び貴い盃を拜むことが出來ないと云ふ人で死んで了う。私なども只だあの方と一緒になるのを待つて居るばかりだね。』

『何んにも其んなに心配することは要らない。君は昔時此の神聖な槍さへ見つかればアムフォルタスさんの疵が癒えると云つたことを記憶えて居ませう。僕は其の爲めに骨折つたのです。さあ之を持つて行きませう。』

『神よ何ぞ託宣の通りにして下さい。』老人は喜びの餘りに叫ぶ。『貴方は本當に善い時に來たものだ。今日は恰度復活節の禮拜のある日だ。アムフォルタスさんと自分の身は何うなつても今一度貴い盃を今日は取り出すと約束して居ました、其の前に貴君は少し休んで、泉で身體でもお洗ひなさい。其の間に白い上衣を用意して置きませう。』

かくて老人は白衣を取りに行つた間に、パルシファルは泉で顏や手を洗ひ清め、其處に坐つたときにカンドライが恐る〳〵遣つて來て、跪いてパルシファルの靴を解き、其の足を洗ふ。パルシフスルは之を見て昔時のことを思ひ出す。

『お前はカンドライだね、隨分長い間色々辛い目に逢つたね。私も同樣だが』といつて、泉の水を少し掬んで婦の頰に灌ぐ。『私はお前が新しい生涯に入るやうにバプテスマする。今日私どもと一緒に御神殿にお來でよ。』

カンドライは喜び極つて淚の流れ出るのを禁め得ぬ。跪いて居るうちに彼の女の姿が變り、再び花園に居たときの如くに愛らしい女になつた。而かも淸く、美しく、輝いた姿は此の世のものとも思はれない。斯の如くにして彼女は救はれた。

そのとき神殿の鐘が穩かに鳴り出して禮拜の始まることを報せた。門番は白衣を持つて來て、パルシファルに着せ、三人で神殿の門の方に進む。パルシファルは其の中央に居て、聖なる槍を携へて居る。

彼等が神殿に這入つたとき、外の武士等は何れも着席し、唱歌隊の少年は聖盃の歌を歌ひ始めた。最後にアムフォルタスが徐ろに這入つて來た。其の容貌は實に深い苦痛に滿されて居る。然し彼は聖壇の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

方に進み他の武士が肅しく待つて居る前で、聖盃を取り出しかける。

かくて彼は遽かに之を止め、其の脇腹を兩手で押へて叫ぶ。

『駄目だ、駄目だ、私は到底之を出すことは出來ない。私はもう直ぐ死ぬる。何うか死してもらひたい。誰でも武器で刺し殺してくれ。そして此の盃の守護者を外に探してくれ。私は聖盃を取り出すことが出來ない。何うか殺してくれ、殺してくれ』

其の頰は苦痛の涙にぬれ、其の悶え惱む有樣の凄さに、列み居るものども、思はず後退りせしむるほどであつた。

引きずるやうな白い衣を着たパルシファルは之を見て、神聖なる槍を携へつゝしづ〳〵と出で來り、靜かに云つた。

『アムフォルタスさん、氣をお鎮めなさい。只だ一つの武器が貴方の苦痛を癒しませう。其の武器は曾て貴方を傷つけたものです。

斯く云ひつゝ神聖なる槍を以て疵に觸れた。不思議にも其の疵は忽ち癒えた。アムフォルタスは祭壇の前に跪いて居るときに、苦痛と喜悦と變つた。

『貴方は赦されました。』パルシファルは尚ほ語り續ける。聖盃を把つて聖餐を行ふことの出來るやうに赦されました。然し今後は此處の守護者となることは出來ません。託宣は今成就しました。』

かくてパルシファルは武士たちの跪いて祈つて居る間に聖壇に進み聖盃を取り出した。救はれたカンドライは平伏して喜びの涙を流し祭壇の下を濡して居る。パルシファルは聖盃を高く取り上げる、燦然たる上は上より盃の上に映し入つて、神殿のうちに輝き亙る。また純白な鳩は高いところから飛び降りて輕くパルシファルの首にとまる。列み居るものは皆な之を以て彼が新たに聖盃の守護者になつた休徴であると覺つた。かくて彼の生きて居る間、此の神殿は一層聖なるものとせられた。(をはり)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會の消息

◎日本基督教女子青年會

△既報の如く本會の發展に伴ひ、今回日本の事情を審かにし、專心この事業の爲めに働らく日本總幹事を求め、幸ひによく候補者ありたるに付き、至急これに要する費用募集中の處、ミセス、フィシャーの金壹百圓也の寄附に續き、東京基督教女子青年會より金壹百拾圓也及び仙臺宮城女學校より毎年金五圓宛寄附せらるゝ事となる。會員諸氏には此の擧の爲めに特に祈られ、なほ寄附金募集につき、出來得る丈けの助力あらんことを切望す。

△明治の女子發展援助の爲め、その後小石川傳道女學校女子青年會より十部、横濱共立女學校より更らに七部申込まる。同校よりの申込みはこれにて總數二十四部となる。茲に記して深くその厚意を感謝す。

◎東京基督教女子青年會

三月十四日午後三時半委員例會を赤坂丹後町一番地ミセス、バック方に於て開催。出席者會長三宮男爵夫人、副會長青木子爵夫人を始め、ミセス、バック、ミセス、テリー、ミス、ボーフラワー、ミセス、グリッフィン、小室夫人みゑ子、小畑夫人續枝子、

三谷民子、川島よし子、ミス、マシユウ、ミス、ページ、加藤たか子の諸氏。

開會前三十分三谷民子氏の司會を以て一同祈禱を捧げ、定刻より三宮會長司會せられ、ミセス、グリッフィン前回の記錄を朗讀し、一同之れを認め、諸種の報告、協議に移る。三宮會長より寄宿舍土地購買費用不足高七千圓の中、二千三百圓の應募高あり、四千七百圓はなほ負債となれる旨報告あり。三谷宗教委員長は二月二十五日萬國學生祈禱會に於ては、東京に於て十一ヶ所に集會を催し、出席人員總數六百名に及べり。なほ本會主催の聖書の組は現任十四組あり、三十八校より來り會し、その人員百四十四名。近く三名の受洗者ありたる旨を述ぶ。寄宿舍委員長今西夫人糸子氏缺席につきマシユウ氏代りて寄宿舍の近況を述ぶ。現今納戸町、安藤坂兩寄宿舍に二十三名宛の寄宿生あり。この新學年に當り更らに上京する學生も多數なるべきに付き、各學校長に書面を贈りて、本會の寄宿舍を紹介する事、なほ始めて上京する女子學生にして、東都の樣子不案內なる者は、豫め打合せあれば、本會委員は停車場に出迎へ、安全にこれを宿舍に伴ふ事を實行する事となる。次で小室會計、會員委員長より現會員數の報告あり、現今維持會員六十八名、普通會員九十三名あり、四月の總會迄には三十九名の新らしき會員を得て、昨總會に於て會員を倍加すべきやう協議せる事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を果したきものなりと述べらる。

終りに日本基督教女子青年會に於て今回日本人の總幹事任命につき、右に要する費用募集中なれば、本會は金壹百拾圓也之れに寄附する事に決し、茶菓の饗應を受けて閉會せり。

◎プール女學校

昨秋以來事ある毎に狀況御報告致すべき筈の處、遂とりまぎれ居り候て、誠に申譯これなく候。幸にして豊かなる恩惠の下に主旨を奉じて活動いたし候結果、追々隆盛の域に進み申候をこよなく喜ばしき事に存じ居り候。

昨年九月二十六、二十七日の兩日を以て、夏期修養會に出席せられし牧岡、桑野兩姉より其の模樣につき懇ろに委しき報告を受け、一同多大の興味を以て承り、大に感謝致し候。目下日曜學校生徒は比較的多く集り來り候まゝ誠に嬉しく存じ居候。又紡績讃美歌は益々奮發致し候結果、非常に上達いたし候まゝ之又神の御賜に由ることゝ感謝いたし居り候。

慈善部は主として時候に應じ、適切なる品を自己の力に任せてそれ〴〵面白く働き居り候。慰問部は病人を見る毎に訪問致し居り候。祈禱部は常に種々なる問題につきて熱心に祈禱致し居り候。殊に萬國女子青年會の爲めに撓ゆまず祈り居り候。

其の他毎月一回青年會の開かれ候節は、何時も有益なる會合を見るを得て、豊かなる神の惠みに浴し居り候。

◎小石川傳道女學校

△一月十二日久保田よね子姉司會の下に經驗會を開く。讃美、聖書朗讀、祈禱の後、同姉の「新年の感」といふ講話あり。二三の姉妹の祈禱につぎ、主の祈りを以て閉會。出席者十八名内會員十六名、客員二名

△一月十九日久保田よね子姉司會の下に親睦會を開く。讃美、詩篇八十五篇朗讀の後、茶菓をとりて互に親睦す。昨年中は機無くして、一度も親睦會を催す事を得ざりき、然れども今年は新らしき年を迎ふると共に、神樣の御許しによりて、新年會及び親睦會を兼ねて開會する事を得、種々の餘興もあり、誠に樂しく、會衆一同滿足を以て散會するを得たるは、感謝の外なかりき。此の會によりて二三の姉妹を青年會に導く事を得たるは、役員一同の殊に深く感謝する處なりき。出席者四十五名、會員十六名、客員二十九名

△一月二十六日ミス、ランク司會の下に矯風會を開く。野中しま子姉の聖書朗讀、渡邊まい子姉の祈禱を以て開會、ミスランクの「酒害に就て」の講話あり。出席者十八名。會員十六名、客員二名。

◎女子英學塾

一月二十二日役員改選を行ふ結果左の如し

△會長淺井はる、副會長早坂のぶ、書記稻田こと、會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

計竹越北見、同横澤つぎ、誘導員河口正子、商賣係一條こと、同馬場靜江、準備員村山つぎ、同岩光八重。

△一月二十六日十二時半より當講堂に於て一般祈禱會を開く。司會者副會長早坂信子姉、來會者二十一人。

△二月二日十二時半より一時迄委員會を開き、聖書三組及び二月の講演會、講演者招聘の件につきて相談す。

△二月九日十二時半より一時迄委員會を開く、始めに會長淺井はる子姉の祈禱あり、次に河井道子氏より會の憲法及び規則に付きての意見を述べらる。後青年會々員の特權に付きて種々なる説出で、左の件、特權として定められたり。即ち新入生歡迎會及び三年生送別會には會員のみがその主催人となり、歡迎會には新入生全體を歡迎し、送別會には會員の人のみ送別するといふ事。

右に關し河井先生より左の如き意見を述べらる。即ち歡迎會の時に會員ならざる人には招待狀を出し、又其會費を要求すること。一同贊成す。然れ共是等の特權にして萬一變更の必要ありと認められし場合には、會長及び副會長に其等の條件を變更し得るの權利を與ふる事に決す。

△二月二十三日十二時半より委員會、二十七日に開かるべき講演會の司令者は多數決を以て會長淺井姉と決し、その他送別會の方法及び贈物等に關して相談ありたり

△二月二十五日午後三時より萬國學生祈禱會女子學院に於て開かれしより、役員一同趣き、長尾半平氏の趣味ある御話を伺ひたり。

△二月二十七日午後三時より淺井はる子姉の司會の許に講演會を開く。岡山組合教會の牧師安部清藏氏の凡ての人は十字架を負はざれば眞の幸福を得る事能はずといふ誠に有益なるの御話しありたり。出席者五六十名、四時半、氏の祈禱を以て閉會せり。

◎横濱共立女學校

△一月二十九日、二月五日、二月十三日外村義郎氏を聘し説教を乞ふ一同多大の奬勵を與へられたり

△一月二十六日名倉みち子、吉澤きく子入會。二月二十六日右兩氏に入會の章として、哥林多後書第三章第二節爾曹は我儕の書なり即ち我儕心に書せり。衆の人の知ところ讀ところなり」を贈る。

△二月二十六日事務會開催決議左の如し

（一）新入會員ありしときには、其歡迎並に會員の章として標語を贈ること。標語は之を印刷に附し在來の會員一同にも分配すること。（二）祈禱室に毎週祈禱事項の要目を掲示し祈禱の結果其效果ありしと認めし項目を順次消し更に新しき事項を掲ぐる等の方法を以て、各自祈に對して協力一致を計ること、（三）掲示板調製のこと（四）三月第四日曜の事務會に

於て役員の改選

◎大阪ウ井ルミナ女學校

△一月八日第一の青年會を開き校長ミスモーガンの講演あり、主意は我等の眞に求むべき物といふことにて、聖書ピリピ三章七―八を引き、懇なる教へを與へらる。△一月十五日各級に於て新しき決心てふ主題のもとに會を開く。聖書ピリピ三〇七―十六
△一月二十二日講堂に於て我等の責任に就きて共に考ふ。聖書哥前十二章十六―二十三、司會者中川友榮姉讃美歌を以て初め、司會者の感話あり、他に三名感話をなし、數名の祈禱あり。聖句を讀む者二名、祈禱員長の祈を以て終る。活氣ある會にてありき。後幹事の勸告ありたり。
△一月二十九日例の如く部分集會を催す。主題は我友に對する我等の責任、聖書羅十四章七―十九
△二月五日講堂に於て會の集りを催す。神戸神學校教授マヤス氏を迎て講話を乞ふ。幹事松井姉の司會にて讃美歌百三番を以て開會し、司會者の祈の後に大要左の如き講話ありき。路九章十八を引き。基督は己れにより、自ら義と思ひ、人を輕ずる者を改めて、東西南北の人類を通じ、外部異なれども變らぬ一つ心とせり。佛教にては自力他力と云ふ事ある。自力にて出來難き事四あり。一己が罪をあがなふ事、二心を變ふる事、三潔く送る事、四天國に加入する事等。最も適切なるお話なりき。

△二月十二日各級に分れ青年會を催す。主題は如何にして自校の進歩を計り得るか。
△二月十九日は我青年會設立以來五週年に當れるを以て、紀念會を開く。中川會長の司會にて祈を以て開會し、次に幹事松井姉五年間の歷史及び青年會憲法を讀みかつのべられ後、本科五年生一同英語讃美歌を唱ひ、會の進歩發展の爲め西野教師、堺穗教師より勸告ありたり。初め西野教師は當校の特徵と青年會が當校の道德的精神養ふ爲めの一の機關たる事に就きまた常中學生の最も警戒すべき事等適當なる例を引き、約十五分間話されたる後、堺穗教師は青年會の精神、青年會の材料、青年會を發展さするには如何にすべきかに就き約四分間語らる、後四百六十二番を唱ひ細川姉の祈を以て閉會す。

◎米子女子青年會

△二月九日第二金曜日常衆會、并に武內姉送別祈禱會開催、會衆者四十一名。近來稀なる盛會なりき。此の日北野姉の送別の辭、武內姉の答辭、會長の奬勵等何れも大なる感を與へられたり。
△二月二十五日萬國學生祈禱日に付、本部より送られたる問題に基き、牧師の講話あり、ベタニヤの家族と題して、マルタ、マリヤ、ラザロの各品性と、其の長所につき、教訓多き奬勵を受け、後祈禱會に移り、殊に學生の爲めに、心を併せて祈り、五時半散會せり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣告

院長診察（月、水、木、金、午前
（入院診斷後應需
松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院

電話本局 八八八（病院用）
八九八（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二
御茶水橋附近

院長 醫學士高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱
從停車場半里
電チガサキ二番

南湖院

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

部數	定價（郵稅共）	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五拾錢	金壹圓

廣告		
一頁	金六圓	
半頁	金三圓貳拾錢	
半段	金貳圓	
一行	金貳拾錢	

明治四十五年三月廿八日印刷
明治四十五年四月一日發行

發行兼編輯人 東京市麹町區三番町四十一番地 エー、シー、マクドナルド
印刷人 東京市神田區美土代町二丁目一番地 島連太郎
印刷所 東京市神田區美土代町二丁目一番地 三秀舍

National Committee

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. T. Inouye, Treasurer
Miss Michi Kawai, Member World's Committee
And World's Student Christian Federation

Resident Members
Miss A. B. West
Miss Ume Tsuda,
Miss Sumi Miyagawa,
Miss Hama Hirano
Mrs. Koharu Nakajima
Miss Uta Suzuki
Miss Sarah Ellis
Miss Matsu Okonogi.
Mrs. A. M. Fisher
Miss Tei Ninomiya
Non-Resident Members
Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. Asa Hirooka, Osaka
Mrs. K. Araki, Osaka
Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss M.F. Denton, Kyoto
Miss Michi Matsuda
Miss Wynne-Willson, Nagoya.
Miss M. Brownlow, Hakodate.
Miss Worthington, Kure.

Miss A. C. Macdonald, General Secretary
Miss Margaret L. Matthew, Tokyo Secretary
Miss G. R. Watney, Tokyo Secretary
Headquarters 41 Sanbancho, Kojimachi, Tokyo.
Miss Matsu Okonogi, Editor.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊

關寬著

命の洗濯

林董伯題詞　故三宅雪嶺村氏跋
故文學博士小杉榲邨氏序
醫學博士二木謙三君序
松村介石君序　野津秋村君跋
笹倉新治君序　德富健次郎君跋

北海道の山中に妙な爺さんがゐる。今年八十三、佐藤門のチャキ／＼でおとなしくしてゐれば今頃は軍醫總監男爵はハヅレヌ所を、少々ツムジ曲りで名利を避け、田舎醫者となつて陰に仁術を施す三十餘年。本書「命の洗濯」は、冷水浴奬勵やら、深山幽谷を跋渉した旅行日記「奢侈文弱を叱咤した力行勤儉を鼓吹した「目さまし草」無人境の開拓事業を記して小説的の「牧場創業記事」心の底から吐きだした和歌「斗滿漫吟」を合して一冊としたものです。

德冨蘆花氏の跋「斗滿川邊の六日」は五十頁に亘る美しい紀行文です。
麗しい自然に憧憬るゝ人々は是非お讀みなさい。

定價六拾錢
郵税六錢
四六判・三百頁

ジョン・バンヤン作
松本雲舟譯

（小説）聖戰

再版

定價壹圓拾錢
郵税拾貳錢
装幀美麗
菊判クロス

田村直臣著

子供の權利

定價五拾錢
郵税六錢

警醒社書店

東京銀座　警醒社書店

明治四十五年四月一日納本發行(毎月一回一日發行)

明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

YOUNG WOMEN OF JAPAN.

Meiji no Joshi

Volume. IX *April 1912.* *No. 4*

The Meaning of the Resurrection.	Dr. Cairns.
"Arise, Go to the City."	Mr. H. Nagao.
The Teaching of "Amen.	Rev. M. Kawazoe.
The Religious Thoughts of Children.	Miss Fuji Kōga.
Daily Life in the Okayama Orphanage.	Miss Ei Sassa.
Salvation as Taught by Jesus Christ.	Rev. En Kashiwai.
The Holy Grail.	Fūkō.
Association Notes.	

National Y. W. C. A., Tokyo Y. W. C. A., Poole's Jō-gakkō, Koishikawa Dendō Jō-gakkō, Joshi-ei-gaku-juku, Kyoritsu Jō-gakkō, Osaka Wilmina Jō-gakkō, Yonago Y. W. C. A.

The Official Organ of the National Committee of Young Women's Christian Associations of Japan

(東京神田美土代町 三秀舎印行)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA